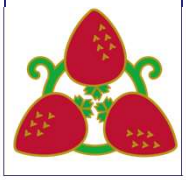
周船寺中学校開校準備委員会 ニュース
第6号　令和7年7月発行

令和8年4月に開校する新設中学校の開校準備を円滑に進めるため、周船寺中学校開校準備委員会を7月17日（木）に周船寺公民館で開催しました。
今回の委員会では校章デザインのコンセプトや、校歌案の作詞・作曲の意図について説明があり、議論を行いました。

校章の検討について

児童・生徒へのアンケートや地域から校章に文字を入れたいという追加要望などを踏まえ、校章作成の望月様より、以下のデザインを提案いただき、それぞれのコンセプトをご説明いただきました。委員会で検討した結果、各団体に持ち帰り検討したうえで、第7回の委員会で校章を決定することとなりました。

No. 1	No. 2	No. 8	コンセプト・解説
			前方後円墳は鍵穴を想起させる形。 鍵を開けて新しい自分へ、未来へと進んでいく期待を込めている。 Sの字は有機的なフォルムにし、繁栄への願いを込めている。 NO.8は周船寺中の「周」、中学校の「中」入りの案。

No. 3	No. 9	No. 10	コンセプト・解説
			地域を代表するイメージのいちごをモチーフに使用。 ヘタや種に福岡市の市章を再構築して使用している。 3粒のいちごはそれぞれ律、共、拓の校訓を表している。 ランナーにどこまでも伸びていく願いを込めている。 「文字なし」、周船寺中の「周」、中学校の「中」の3案。

No. 4	コンセプト・解説
	湯溜池といえば花火大会。花火には古来、狼煙や祝祭、鎮魂など人々の願いや祈りが込められてきた。 花火を見上げるように生徒、教員、保護者、地域が同じ方向を見つめていくという決意を込めている。 花火は古墳、福岡市の市章で構成されている。

No. 5	No. 11	コンセプト・解説
		周船寺の由来といわれる遣唐使船をモチーフとしている。 帆に中学校の「中」、周船寺中の「周」の2案。 波のように配置された2つのS。 エンブレム感を強くしたデザイン。

No. 6	No. 12	コンセプト・解説
		前方後円墳と福岡市の市章によって構成された花。 周船寺小、西都小に所縁のあるカラーリング。 生徒それぞれが花開いていく学校への願いが込められている。 NO.12には前方後円墳の円の部分に周船寺中の「周」の文字入り案。

No. 7	コンセプト・解説
	周船寺と西都、2つのSの重なる様子。 7つの古墳に支えられている。 銅鏡をイメージさせる円の周囲には、博多織の献上柄の親子縞、太い縞が細い縞を挟む「親が子を守る」願いを込めている。

No. 13	コンセプト・解説
	周船寺中の「周」の文字案。 銅鏡をイメージさせる円の周囲には、博多織の献上柄の親子縞、太い縞が細い縞を挟む「親が子を守る」願いを込めている。 NO.7の古墳の配置を変更。

校歌の検討について

作詞をしていただいた桑原様に説明をいただき、曲の紹介を行いました。
校歌についても第7回の委員会で決定する予定です。

周船寺中学校　校歌（案）

作詞　桑原　拓也
作曲　市原　匡貴

西の都から　船が往く船が往く
律ある力が帆を広げ　古が未来照らす
水面に映る花火のよう　道は果てしなく広がって
鐘撞山に見守られ　新たな学びへ舵をきる

新しい日々へと　船が往く船が往く
宮崎開きの大地に　根をはり歩んでいく
朝日に照らす道しるべ　共に旅立つその日まで
喜び合い夢を紡いで　違いの中にぞ愛がある

彼方星を目指し　船が往く船が往く
自らの道を切り拓け　光に満ちた未来
夢語る時の尊さよ　始まりを作り花開け
創造　行動　滾らせて　素晴らしい過去を越えていく

西の都から　新しい日へと　船が往く

校歌案を作成するにあたって

◆周船寺という地名の由来となった歴史から、
“人生の船が未来に向かって前に前に進んでいく”イメージ。
◆”校歌らしさ”と”新しさ”のバランスを意識した。
◆校歌案の1・2・3番に校訓である「律」「共」「拓」を入れ、意味合いも含ませた。
◆地域の地名や、児童生徒から募集したキーワードを入れた。
◆現在の曲はサビから始まることが多いので、サビから始まる校歌案にした。
◆間奏の時間にメリハリをつけ、生徒が息を整えて、みんなで合唱しやすい作りとした。
◆吹奏楽部が使う楽器で演奏できる音階にしている。
◆校歌を歌うタイミングは、入学式、卒業式、終業式など節目の日が多い。明日からまた新しい日が始まるというタイミングで歌うので「新しい日へと」という一文で締めた。

委員会資料は、福岡市教育委員会ホームページに掲載しています。
福岡市教育委員会HP>教育施策>学校規模適正化>周船寺中学校開校準備委員会

会議資料はこちら

《お問い合わせ先》
周船寺中学校　開校準備委員会事務局（教育委員会中学校教育課）
TEL:092-711-4639　FAX:092-733-5780
E-mail:jh-education.BES@city.fukuoka.lg.jp